

専門作業療法士制度に係る大学院との連携  
連携大学院及び連携科目一覧

北海道  
北海道医療大学大学院リハビリテーション科学研究科

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目               | 該当する大学院の授業科目       |
|------------|-------|--------------------|--------------------|
| 認知症        | 専門基礎Ⅰ | 専門OT（認知症）の目指すもの    | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 我が国における認知症OTの現状    | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 老化・老年期障害とは？        | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 認知症を理解する1          | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 認知症を理解する2          | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 症候学                | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 評価1                | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 評価2                | 作業行動特論             |
|            | 専門基礎Ⅱ | 治療1                | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            |       | 治療2                | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅰ |
|            | 専門基礎Ⅲ | 保健領域における認知症のOT     | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 病院領域における認知症のOT     | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 老健領域における認知症のOT     | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 特養領域における認知症のOT     | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 在宅領域における認知症のOT     | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | まとめ                | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ  |
|            | 専門基礎Ⅳ | コミュニケーション技術        | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 他職種との連携            | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 家族機能               | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 家族支援の現状・実際         | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 人的物理的環境            | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
|            |       | 社会資源の活用            | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |
| 地域との連携     |       | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |                    |
| 関連法規など     |       | 臨床リハビリテーション学（認知症）Ⅱ |                    |

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目                                       | 該当する大学院の授業科目                           |
|------------|-------|--|--|
| 訪問作業療法     | 専門基礎Ⅰ | ①制度理解、地域包括ケアシステム                           | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ                      |
|            |       | ②社会資源、訪問リハの特性、法令順守、退院支援                    | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ                      |
|            |       | ③合併症管理                                     | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ                      |
|            |       | ④環境（住まい・家とは）、制度的に訪問可能な住宅、住環境調整、家族教育        | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ                      |
|            |       | ⑤家に訪問するということ（身だしなみ、不適切対応など）、訪問作業療法概論       | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ                      |
|            |       | ⑥在宅の作業療法（実践例を含む）、効果判定・指標                   | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ                      |
|            |       | ⑦在宅でのICF、支援形態、生活行為向上マネジメント                 | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ                      |
|            | 専門基礎Ⅱ | ①リスク管理（急変時の備え、予防的知識）、携帯品、全身状態の把握、服薬・栄養管理など | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ<br>臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ |
|            |       | ②食生活の支援、一般状態の観察、疾病管理、服薬                    | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ<br>臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ |
|            |       | ③コミュニケーション（アセスメントを伴う）                      | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ<br>臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ |
|            |       | ④在宅での他職種の理解（役割・利点・限界）、連携の実際                | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ<br>臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ |
|            |       | ⑤バイタルサイン、在宅での感染予防・対策                       | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ<br>臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ |
|            |       | ⑥医療処置の知識（機器やルート異常の発見含む、緊急時の医師との連携）         | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ<br>臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ |
|            |       | ⑦事業所管理（リーダーシップ、教育、クレーム・事故対応、ヒヤリハット）        | 臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅰ<br>臨床リハビリテーション学（訪問）Ⅱ |

| 連携している専門分野 | 研修の種類                     | 研修項目   | 該当する大学院の授業科目      |
|------------|---------------------------|--|-------------------|
| がん         | 専門基礎Ⅰ                     | がんの基礎的理解とがんサバイバーシップ  | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | がん治療学（①概論、②手術、③化学療法、④放射線療法）  | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | がんの診断と検査データの見方（画像診断含む）   | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | 緩和ケア・緩和医療学(1)（トータルペインの概要、身体的苦痛に対する治療とケア）                                 | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | 緩和ケア・緩和医療学(2)（スピリチュアルペイン）  | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | がんに関連する制度とサービス   | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            | 専門基礎Ⅱ                     | 家族ケア・グループケア  | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | 治療期におけるがん作業療法の役割（就労・就学支援を含む）   | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | 進行期・終末期におけるがん作業療法の役割（在宅復帰支援/在宅支援を含む）                                     | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            |                           | AYA（アヤ）世代（Adolescent and Young Adult（思春期や若年成人））/育児期の親世代/高齢者におけるがん作業療法の役割 | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ |
|            | がん医療に関わる多職種との役割（チーム医療）の理解 | 臨床リハビリテーション学（がん）Ⅰ  |                   |

東京都

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目 | 該当する大学院の授業科目 |
|------------|-------|------|--------------|
| 福祉用具       | 専門基礎  | 入浴   | 入浴 入浴・排泄関連用具 |
|            |       | 排泄   | 入浴 入浴・排泄関連用具 |
|            |       | 家族支援 | 個別援助計画       |
|            | 専門応用  |      | 社会福祉概論       |
|            |       |      | 福祉用具市場経営論    |

文京学院大学大学院保健医療科学研究科

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目                   | 該当する大学院の授業科目                |
|------------|-------|------------------------|-----------------------------|
| 摂食嚥下       | 専門基礎Ⅳ | 摂食嚥下障害に対する評価（小児）       | 発達障害作業療法学演習                 |
|            |       | 摂食嚥下障害に対する評価（成人・高齢者）   | 発達障害作業療法学演習                 |
|            |       | 摂食嚥下障害に対する治療（小児）       | 発達障害作業療法学演習                 |
|            |       | 摂食嚥下障害に対する治療（成人・高齢者）   | 発達障害作業療法学演習                 |
|            | 専門応用  | 評価演習                   | 発達障害作業療法学演習<br>老年期障害作業療法学特論 |
|            |       | 治療演習                   | 発達障害作業療法学演習<br>老年期障害作業療法学特論 |
|            |       | 小児の評価治療演習              | 発達障害作業療法学演習                 |
|            |       | 成人・高齢者の摂食嚥下障害に対する事例検討1 | 老年期障害作業療法学特論                |
|            |       | 小児の摂食嚥下障害に対する事例検討1     | 発達障害作業療法学演習                 |

京都府  
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目   | 該当する大学院の授業科目          |
|------------|-------|--|-----------------------|
| がん         | 専門基礎Ⅰ | がんの基礎的理解とがんサバイバーシップ  | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん         | 専門基礎Ⅰ | がん治療学（①概論、②手術、③化学療法、④放射線療法）  | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん         | 専門基礎Ⅰ | がんの診断と検査データの見方（画像診断含む）   | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん         | 専門基礎Ⅰ | 緩和ケア・緩和医療学(1)（トータルペインの概要、身体的苦痛に対する治療とケア）                                 | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん         | 専門基礎Ⅰ | 緩和ケア・緩和医療学(2)（スピリチュアルペイン）  | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん         | 専門基礎Ⅰ | がんに関連する制度とサービス   | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん         | 専門基礎Ⅰ | 家族ケア・グリーフケア  | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん         | 専門基礎Ⅱ | 治療期におけるがん作業療法の役割（就労・就学支援を含む）   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅱ | 進行期・終末期におけるがん作業療法の役割（在宅復帰支援/在宅支援を含む）                                     | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅱ | AYA（アヤ）世代（Adolescent and Young Adult（思春期や若年成人））/育児期の親世代/高齢者におけるがん作業療法の役割 | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅱ | がん医療に関わる多職種への役割（チーム医療）の理解  | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 原発性脳腫瘍・転移性脳腫瘍を経験した患者とその家族の生活支援   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 頭頸部がん・頸部リンパ節郭清を経験した患者とその家族の生活支援  | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 消化器がん（食道がん・胃がん・大腸がん・肝胆膵がん）を経験した患者とその家族の生活支援                              | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 乳がん・婦人科がんを経験した患者とその家族の生活支援   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 泌尿器がんを経験した患者とその家族の生活支援   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 肺がんを経験した患者とその家族の生活支援   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 造血器がんの経験をした患者とその家族の生活支援  | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 骨軟部腫瘍の経験をした患者とその家族の生活支援  | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 皮膚がんを経験した患者とその家族の生活支援  | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん         | 専門基礎Ⅲ | 転移がん（転移性骨腫瘍・脊髄圧迫）を経験した患者とその家族の生活支援                                       | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |

|    |       |   |                       |
|----|-------|---|-----------------------|
| がん | 専門基礎Ⅲ | 転移がん（肝転移、肺転移）を経験した患者とその家族の生活支援                                      | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん | 専門基礎Ⅲ | 小児がんを経験した患者とその家族の生活支援   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん | 専門基礎Ⅳ | がん作業療法で求められるリスク管理   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん | 専門基礎Ⅳ | 全身倦怠感・体力消耗状態・廃用性症候群・がん悪液質を有するがん患者とその家族の生活支援                         | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん | 専門基礎Ⅳ | CIPN、手足症候群、外見の変化、嚥下困難、食欲不振・過多、倦怠感などのがん治療の後遺症・有害反応に対するがん患者とその家族の生活支援 | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん | 専門基礎Ⅳ | リンパ浮腫・終末期浮腫を経験した患者とその家族の生活支援  | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん | 専門基礎Ⅳ | がん性疼痛を有するがん患者とその家族の生活支援   | 脳機能リハビリテーション学セミナー（がん） |
| がん | 専門基礎Ⅴ | 精神腫瘍学   | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん | 専門基礎Ⅴ | 死生学・死生観を考える   | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん | 専門基礎Ⅴ | がん医療に従事する作業療法士のためのコミュニケーションスキル・トレーニング（基礎編）                          | 脳機能リハビリテーション学演習（がん）   |
| がん | 専門応用Ⅰ | 治療期のがん患者に対する実践演習（事例検討・発表を含む）  | 脳機能リハビリテーション学特講（がん）   |
| がん | 専門応用Ⅱ | 進行期・終末期のがん患者に対する実践演習（事例検討・発表を含む）                                    | 脳機能リハビリテーション学特講（がん）   |
| がん | 専門応用Ⅲ | リンパ浮腫・終末期浮腫を呈したがん患者に対する実践演習（講義・事例検討・発表含む）                           | 脳機能リハビリテーション学特講演習（がん） |
| がん | 専門応用Ⅳ | 在宅生活支援・在宅復帰支援における実践演習（事例検討・発表含む）                                    | 脳機能リハビリテーション学特講演習（がん） |
| がん | 専門応用Ⅴ | がん医療に従事する作業療法士のためのコミュニケーションスキル・トレーニング（基礎編）                          | 脳機能リハビリテーション学特講（がん）   |

広島県  
広島大学大学院医系科学研究科総合健康科学専攻

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目                            | 該当する大学院の授業科目 |
|------------|-------|---------------------------------|--------------|
| 手外科        | 専門基礎Ⅰ | 手関節・手の機能解剖概説                    | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            |       | 肘・前腕の機能解剖概説                     | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            |       | 手関節・手の機能解剖・触診                   | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            |       | 肩・肘・前腕の機能解剖・触診                  | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            | 専門基礎Ⅱ | 生理学（運動・知覚）                      | 作業行動探索科学特論   |
|            |       | 病態生理学（末梢神経麻痺による筋収縮および知覚異常、反射異常） | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            |       | 生体力学（関節モーメント、腱の滑走距離等）           | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            |       | 病態運動学（骨関節アライメント異常、手の変形）         | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            |       | 画像診断学                           | 上肢機能解析制御科学特論 |
|            |       | 創・感染・治癒                         | 上肢機能解析制御科学特論 |

鹿児島県  
鹿児島大学大学院保健学研究科

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目                                     | 該当する大学院の授業科目  |
|------------|-------|--|---------------|
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | 保健領域における認知症のOT<br>①予防事業の現状と課題            | 高齢期・神経作業療法学特論 |
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | 病院領域における認知症のOT<br>②一般病院（整形、急性期）での事例検討、課題 | 高齢期・神経作業療法学特論 |
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | 病院領域における認知症のOT<br>③専門病院での事例検討、課題         | 高齢期・神経作業療法学特論 |
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | 老健領域における認知症のOT<br>④介護老人保健施設での事例検討、課題     | 高齢期・神経作業療法学特論 |
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | 特養領域における認知症のOT<br>⑤介護福祉施設での事例検討、課題       | 高齢期・神経作業療法学特論 |
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | 在宅領域における認知症のOT<br>⑥デイケアでの事例検討、課題         | 高齢期・神経作業療法学特論 |
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | 在宅領域における認知症のOT<br>⑦訪問での事例検討、課題           | 高齢期・神経作業療法学特論 |
| 認知症        | 専門基礎Ⅲ | まとめ<br>⑧事例検討の方法（臨床データの整理や取り方など）          | 高齢期・神経作業療法学演習 |

|     |       |  |                                     |
|-----|-------|--|-------------------------------------|
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | コミュニケーション技術<br>①認知症者・家族などコミュニケーションをとる上での基礎知識 | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | 他職種との連携<br>②他職種の業務内容も理解した上での協業とは？            | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | 家族機能<br>③家族機能の基本                             | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | 家族支援の現状・実際<br>④実際の関わり（事例）を通しての理解             | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | 人的物理的環境<br>⑤環境要因で考慮すべきポイント                   | 高齢期・神経作業療法学特論                       |
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | 社会資源の活用<br>⑥社会資源を利用したサポートの実際                 | 高齢期・神経作業療法学特論                       |
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | 地域との連携<br>⑦連携の意義                             | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門基礎Ⅳ | 関連法規など<br>⑧介護保険、自立支援法、後見人制度などの整理             | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門応用  | 認知症作業療法の役割と目的1                               | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門応用  | 作業療法評価と実際・実技                                 | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門応用  | 認知症作業療法の役割と目的2                               | 臨床神経リハビリテーション学特論                    |
| 認知症 | 専門応用  | プログラム立案のポイント                                 | 臨床神経リハビリテーション学特論                    |
| 認知症 | 専門応用  | MCI・AAMI（予防）への作業療法                           | 高齢期・神経作業療法学特論<br>臨床神経リハビリテーション学特別演習 |
| 認知症 | 専門応用  | アルツハイマー型認知症（困難例）の対応                          | 臨床神経リハビリテーション学特論                    |
| 認知症 | 専門応用  | 脳血管性認知症（困難例）の対応                              | 高齢期・神経作業療法学特論<br>臨床神経リハビリテーション学特別演習 |
| 認知症 | 専門応用  | レビー小体認知症（困難例）の対応                             | 高齢期・神経作業療法学特論<br>臨床神経リハビリテーション学特別演習 |
| 認知症 | 専門応用  | 認知症作業療法・ケアの連携体制を構築する為の（医療、福祉、保健の領域に関して）知識、技術 | 高齢期・神経作業療法学演習                       |
| 認知症 | 専門応用  | 認知症の福祉用具・住宅改修への対応                            | 臨床神経リハビリテーション学特論                    |
| 認知症 | 専門応用  | 社会資源の利用（関連法規）                                | 高齢期・神経作業療法学特論                       |
| 認知症 | 専門応用  | 家族会運営技法・面談の技術                                | 高齢期・神経作業療法学特論<br>臨床神経リハビリテーション学特論   |

|     |         |   |                                  |
|-----|---------|---|----------------------------------|
| 認知症 | 専門応用    | 演習指導方法論・演習1<br>(講義や演習を行う際の基本的技法を学ぶ; KJ法、BS法など)        | 保健学研究方法論                         |
| 認知症 | 専門応用    | 演習指導方法論・演習2<br>(認知症対応・作業療法実践を理解してもらうための研修会の企画・運営を考える) | 臨床神経リハビリテーション学特別演習               |
| 認知症 | 専門研究・開発 | 認知症に関する研究・開発の実践                                       | 保健学特別研究<br>臨床精神神経障害学特別研究保健学研究方法論 |

佐賀県

西九州大学大学院生活支援科学研究科リハビリテーション学専攻

| 連携している専門分野 | 研修の種類 | 研修項目                   | 該当する大学院の授業科目  |
|------------|-------|------------------------|---------------|
| 摂食嚥下       | 専門応用  | 成人・高齢者の評価治療演習          | 生活行為障害系作業療法特論 |
| 摂食嚥下       | 専門応用  | 成人・高齢者の接触嚥下障害に対する事例検討1 | 生活行為障害系作業療法特論 |